

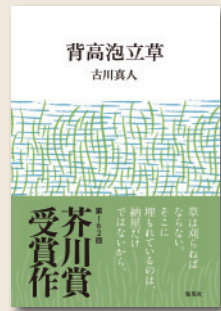
# やまぶんブックニュース

図書室からのビッグでブックなお話です!

2月29日(土)は文化センター図書室で読書まつりを開催!

## いま話題のあの本

背高泡立草 著:古川 真人



母の実家の長崎の島・吉川家に、草刈りに来た大村奈美。いずれも空き家となった吉川家の古い家と新しい家について、また島の歴史について話を聞き、島に流れた時間を思う。物語のモデルとなった作者の祖母、内田玲子さんは島で食料品店を営んでいた。人々が生きた時間を描く、第162回芥川賞受賞作品。

話題

いま話題の本を毎月ご紹介

## 図書司書補が厳選する今月の1冊

本当の「頭のよさ」ってなんだろう? 著:齋藤 孝



「頭がいい」というのは脳の状態であり、頭の良い、良くないで分けられていない。大人になってから活躍する人だっている。「頭の働きがよい状態を増やす事で、誰でもどんどん頭が良くなる」という考え方を、テレビでお馴染みの明治大学教授が分かりやすく解説。

文セ図

文化センター図書室

ライオンのおやつ 著:小川 糸



若くして余命を告げられた雫は、瀬戸内の島のホスピスで、残りの日々を穏やかに過ごしていた。そこでは毎週「おやつの日」がある。人生を最後にやりたいこと。食べて、生きて、そして旅立つ。すべての人にいつか訪れることを、あたたかく描き出す感動の物語。

やま図

やまんなか図書室

## 今月の新着本



リアルフェイス 著:知念実希人



がん外科医の本音 著:中山祐次郎



脱・呪縛 著:鎌田 實



ランチ探偵 著:水生大海



風の市兵衛 著:辻堂 魁



アライバ崩し承ります 著:大山誠一郎

## 子どもたちにオススメの本



ノラネコぐんだんカレーライス 著:工藤 ノリコ



かいけつゾロリスターたんじょう さく・え:原 ゆたか

絵本

児童書

## 「本屋大賞」ノミネート作品決定

「全国書店員が選んだいちばん売りたい本」がキャッチコピー。実行委員会は書店員こそが本と読者を「最もよく知る立場にある」と位置づけて投票資格者を書店員主体にしています。直木賞や芥川賞を受賞した作品より売上部数が伸びる場合も。結果発表は4月7日です。

川越宗一さん(錦江町生まれ)の「熱源」もノミネート。受賞すると本屋が選ぶ時代小説大賞、直木賞含め3冠



「熱源」 著:川越宗一 (2020年「直木賞」受賞作品)  
「線は、僕を描く」 著:砥上裕将  
「店長がバカすぎて」 著:早見和真

「夏物語著」:川上美映子  
「ノースライト」 著:横山秀夫  
「むかしむかしかしあるところに、死体がありました。」 著:青柳碧人  
「ムゲンのi」 著:知念実希人  
「medium 霊媒探偵城塚翡翠」 著:相沢 沙呼  
「ライオンのおやつ」 著:小川糸  
「流浪の月」 著:凧良ゆう



▶文化センター図書室(大根占) ☎0994-22-0517 ▶やまんなか図書室(田代) ☎0994-25-2511

▶開館時間:午前9時~午後5時まで(12時~13時閉館) ▶休館日(文) 毎週月曜(祝日の場合は翌日休館) (や) 毎週火曜

※(文)=文化センター図書室 (や)=やまんなか図書室

「強いも弱いもない。優れるも劣るもない。生まれたから生きていくのだ」。すべてを引き受け、あるいは補いあつて

支えられて生きてきた。これまでのすべての出会いに感謝している



と読者を繋いでくれた全国の書店員の皆さん、これまで支えてくれたすべての人に感謝したい」と続けます。あえて表現するならば「仲良くしようぜ!」

1作目の天地に燦たりでは島津の大野七郎久高、2作目の熱源では西郷従道や永山武四郎が鹿児島弁で激

「本ばかり読んでいた子でした。小遣いのほとんどは本に消え、図書館から返却を催促する手紙もよく来てました」と話すのは母の志摩子さん。大学は史学科に進みましたが、高校から始めたバンド活動に夢中になり中退。「契約社員をしながらバンドを続けていましたが、30歳を機に引退し、今の会社で正社員として雇ってもらいました」と川越さん。現在は時短勤務で執筆活動を続けています。「作品にける時間は多い方がいいですが、当分は兼業作家です。今回の受賞は当時を生き残った人、本作

しく討論するなど両作とも鹿児島弁が描かれています。「両親とも錦江町で生まれ育ち、自分も小学生のころまで年に数回は帰省してました。両親の会話は鹿児島弁ですから、西郷と永山のシーンは書きながらテンション上がりましたね」と熱源のなかでも特に印象的だと思いを込めたシーンに、読み返すたび熱を感じるそうです。本作では、文明の名のもとに進められたアイヌの同化政策も取り上げられています。文化や伝統、故郷、言葉を奪われること。そして、

## 川越宗一さん(錦江町生まれ)



錦江町生まれ、大阪府出身。『天地に燦たり』で第25回松本清張賞を受賞して作家デビュー。2作目の『熱源』で直木三十五賞を受賞。京都市在住の41歳。

「直木賞」受賞記念特別企画 錦江町 教育委員会 ☎22-0517

## 川越宗一トークショー&サイン会

直木賞作家の川越宗一さんと鹿児島県立図書館長の原口泉さんをお招きし、トークショーとサイン会を開催します。定員は先着550名、申込みは3月16日(月)まで。参加費は無料です。

3.20 申込締切▶3/16月 14時~(受付13時~) 錦江町文化センター

錦江町ホームページで随時更新しますのでチェック▶



サイン会は当日の書籍購入者限定です

